議　事　録

件　　名		第32回セーフコミュニティ交通安全対策委員会
日　　時		令和7年10月8日（水）　14：00～15：00
場　　所		久留米市役所３階　３０８会議室
出席者	委　員	白倉委員長、赤司副委員長、服部委員、大内田委員、山口委員、谷口委員、高橋委員、二本木委員、末次委員
	事務局	山下主幹、新村課長補佐、石井主査、前田
欠　席　者		赤松委員、北坂委員、今村委員、森委員、古賀（昭）委員、古賀（友）委員、柳委員
傍　聴　者		なし
次　　第		１．開会 ２．協議事項 （１）次期国際認証に対するアンケート結果について （２）みんなでセーフコミュニティ賞について ３．その他 ４．閉会
質　　疑		**<u>１．開会</u>** ・事務局より開会 ・傍聴者の確認「なし」
委　員　長		改めまして久留米市交通安全協会で事務局長をしております白倉と申します。よろしくお願い申し上げます。 それでは、第32回SC交通安全対策委員会の協議に入らせていただきます。 終了時刻は15時00分を予定しております。皆様のご協力により、協議がスムーズに進行しますよう、よろしくお願いします。
		<u>２．協議事項</u> **<u>（１）次期国際認証に対するアンケート結果について</u>**
委　員　①		これから新規に国際認証を受けようとしている自治体はありますか。また現在、認証を受けている自治体はどのくらいありますか。
事　務　局		新規の動きについて、我々のところに情報は入ってきておりません。 現在認証を受けている自治体は、九州圏でいくと本市と鹿児島市のみ。あとは関西圏です。
委　員　①		他の自治体が取り組んでいないのは、なぜですか。
事　務　局		取組をしている我々からすると、残念ですが、やはりSCの仕組み自体が、広まっていないことが大きいと思います。それというのも、SCに取り組んだからといっても、国からの補助とかはありませんので、独自財源になります。

	SC の取組で、安全安心のまちづくりをしていますということを、他市の方々にお伝えしても、まず SC がわからない。そこから説明をしているのが現状です。
委　員　①	わかりました。今の説明を逆に捉えれば、久留米市は希少な取組をしているという考え方でいいですよね。ただ、もう少し SC の取組が、全国的に浸透すれば、本市の取組が今後評価される可能性があるということですね。
事　務　局	そういう状況になれば、本市は、先進的に取り組んだ自治体ということで、評価されるかと思います。
委　員　②	国際認証を受けるにあたって、費用はかかるのですか。
事　務　局	SC の国際認証組織がありますので、認証の審査は、海外から審査委員を招く形になります。認証にかかる市の予算としましては、海外からの渡航費用、会議費、委託費などを含めて、1,000 万円を超えるぐらいの予算規模になります。 通常、安全安心推進課の SC 事業費は 400 万円前後の予算規模です。 国際認証の本審査にあたる令和 5 年度予算は、800 万円程度の増額、その前年度、事前審査にあたる令和 4 年度予算は 200 万円の増額となりました。
委　員　②	国際認証となれば、職員の負担は、どの程度増えるのですか。
事　務　局	私自身、事前審査、本審査を経験したことがございません。 今年は、さいたま市が再認証を受けるということで、その本審査をオンラインで拝見させていただきました。そこでは海外の審査員 2 名に対し、各対策委員会の活動内容を報告されていましたが、実際に審査の場でアピールされていたのは、対策委員会の皆様でした。審査委員からの質疑応答も各対策委員会の皆様が対応するという中身になっておりました。 日頃の活動を数値化し、プレゼン用にまとめ、説明する。そのための作業が事前に必要になってくると考えます。
委　員　③	今、46 校区の中で、安全安心なまちづくりに取り組んでいます。 アンケート結果でも、SC の効果として「安全安心なまちづくり」が挙げられています。これには日常の啓発活動が重要であるし、シンボルとしての国際認証取得はわかります。 しかし国際認証を受けることが、ただ単にそのシンボルに過ぎないのか、それともももっと具体的にメリットがあるのか、という点が、どうも私自身、理解できない。 国際認証を受けるという最初の、市の思い、どういったところを目指して国際認証を受けたのか、ちょっとお尋ねしたい。

事　務　局	前回の対策委員会でお配りした資料の中にあるのですけれども、SC の取組を始めたのは、2011 年（平成 23 年）です。その当時、事故や犯罪、暴力事件に対する、市民の不安感が高い状況にありました。暴力団の活動が激しかったということもあります。 また本市は平成 17 年に、1 市 4 町の合併をしました。合併から 5 年が経過した段階で、校区コミュニティ組織や市民活動団体との連携が、合併以前のまま、地域ごとに違う形で形成されていました。そこで、SC の取組を 1 つの契機として、地域が一体となり協働のまちづくりを推進していこうという動きがあったと認識しています。
委　員　③	ありがとうございます。そういった意味では、今、校区が、その形にあるということですね。ただ、この国際認証を受けているという認知度が、住民の方々には、ちょっと薄いかなと言われたっていうことですね。それは逆に言うと私自身、力不足っていうか、或いは取組不足もあるのかなと思いますけども。 もっと全体的にこの認知度を高めるために、どういうことをされているのですか。
事　務　局	市民アンケートを取っているのですが、認知度については、ずっと右肩下がりです。 SC いう言葉は聞いたことあるけど、何をしているのかわからないというような方が、多くいらっしゃるのは事実でございます。 我々としては、啓発活動という形で取り組んでいるのですが、それが従来からのホームページであったり、市の広報誌であったり、そういった枠にとらわれている部分が、ちょっと、大きいのかとは思っております。 そこで最近では、ＳＮＳも活用しています。ＬＩＮＥをはじめ、昨年度からは、インスタグラムの取組も進めておりまして、なるべく若い世代に対しましても、啓発が届くように力をいれています。
委　員　③	因みに、例えば久留米市国際認証みたいなイベントの日を設けるとかして、参加を促せば、認知度が高まる可能性があるかもしれないと思います。
事　務　局	ありがとうございます。
委　員　④	SC の国際的な評価は、どうですか。
事　務　局	海外の状況につきましては、私も把握ができておりません。 韓国、台湾、中国、タイでの活動報告を見たことはありますが、海外で、その活動が広がっていっている状況っていうのは、わかりません。
委　員　④	国際認証と言いますが、日本国内での認証と、具体的に何が違うのですか。外向けに発信しても何のことか、理解してもらえない。九州内で、認証を受けている

	自治体が 2 か所しかない。では SC の認証を受けない自治体へのアンケート、あるいは事業を継続している自治体へのアンケートをしてみてはどうですか。
事　務　局	そういった周辺自治体への聞き取りというのは考えたいと思いますけれども、そもそも国内の状況を考えますと、海外に比べて、比較的安全安心な街が多い。 もともとの SC 自体が、けがや事故の予防を目的としていますが、海外では紛争地帯も多く、命をつなぐためにも、なんとか予防できないかとして始まった取組の面もあります。 だから、もともと安全な日本で、独自予算を使って事業に取り組むということは、なかなか他の自治体では、受け入れがたいのではないでしょうか。
委　員　長	交通安全対策委員会に特化している課題であると思いますが、交通安全対策を実施している組織が、いくつもあります。組織が乱立しているとも言えますが、各々が、同じような活動をしています。ほかの団体に働きかけて、情報を発信してはどうですか。他の団体も巻き込んだ形で情報を収集して、「こういうのをやっています」で配信すれば、労力も減るでしょう。 うちも、色々な組織がありますが、正直、横との連携はほとんどないです。情報が入ってこないというか。 対策委員会の議題としても、やはり、それぞれの重点取組項目についての結果とか、そういったものばかりです。今回お集まりの委員の皆様も、それぞれの団体で、いろんな交通安全活動をされていると思います。そういった情報共有はもちろん、会議の活性化対策みたいなことも考えていきたいと思いますので、よろしくお願いします。 それでは様々なご意見ありがとうございました。SC 事務局は皆様から寄せられたご意見を、今後の参考にしてください。
事　務　局	本日は、委員の皆様から貴重なご意見をいただきまして、大変ありがとうございました。 ご意見につきましては、対策委員会の議事録という形で、市のホームページにも掲載させていただきます。併せて今後の庁内会議や推進協議会での資料という形にまとめさせていただきたいと思っております。それら推進協議会の結果も、議事録として、ホームページに掲載をしていきますので、ぜひご一読ください。 皆様もご存じかと思いますけれども、市の厳しい財政状況もあり、一部の市議会議員の方から認証の継続に対しまして、反対の意見が出ています。引き続き、協働による安全安心の取組を継続していくため、どのような体制や方法がいいのかを、事務局で検討させていただきまして、来年度の決定につなげていきたいというふうに考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

	（２）みんなでセーフコミュニティ賞について
事　　務　　局	今回、交通安全対策委員会からの推薦はありません。
委　　員　　⑤	交通安全対策委員会だけが推薦無ということですか。
事　　務　　局	現在、8 対策委員会のうち、4 対策委員会から、4 団体、1 名の推薦が出ています。
	３．その他 （１）令和 7 年度セーフコミュニティ会議等スケジュール（案）
	４．閉会